

地域再生計画評価調書(地方創生推進交付金事業効果検証調書)

地域再生計画の名称	稼ぐ力を創出するスポーツと文化による地域活性化事業	地域再生事業の名称	稼ぐ力を創出するスポーツと文化による地域活性化事業	令和元年度評価
-----------	---------------------------	-----------	---------------------------	---------

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

評価指標	基準年数値	目標数値、実績値及び目標数値に対する達成度				達成度についての分析	
			2018年 (平成30年)	2019年 (令和元年)	2020年 (令和2年)		最終年目標数値 2020年
目標1 社会減の縮小数	3,247 人	目標	-400 人 (2,847) 人	-400 人 (2,447) 人	-450 人 (1,997) 人	-1,250 人 (1,997) 人	目標1の社会減の縮小数については、目標に対して達成度が△42.8%となり、大幅に悪化した2018年から減少幅は改善した。15～24歳の転出超過は3,629人と転出超過数全体の約86%を占める中、15～19歳の転出超過が転出減により前年から84人改善し、また20～24歳の転入者数が前年から182人増えており、地域の賑わい創出への取組みのなどの効果が表れ始めていると考える。
		実績	+816 人 (4,063) 人	+171 人 (4,234) 人	人	+171 人 (4,234) 人	
		達成度	-204%	-42.8%		-42.8%	
目標2 県外からの移住者数	1,085 人	目標	+223 人 (1,308) 人	+223 人 (1,531) 人	+400 人 (1,931) 人	+846 人 (1,931) 人	目標2の県外からの移住者数については、目標に対して達成度が87.0%となり、単年度の目標値は達成できなかったが、順調に成果は上がっている。特に若年層が伸びており、本県の魅力が浸透しつつあるものと考ええる。
		実績	+630 人 (1,715) 人	+194 人 (1,909) 人	人	+194 人 (1,909) 人	
		達成度	282.5%	87.0%		87.0%	
目標3 観光入込客数	26,999 千人	目標	+387 千人 (27,386) 千人	+387 千人 (27,773) 千人	+400 千人 (28,173) 千人	+1,174 千人 (28,173) 千人	目標3の観光入込客数については、目標に対して達成度が322.7%となり、前年から1,249千人(4.8%)の増加、過去4番目の数字を記録した。増加要因としては、 ・東予東部圏域振興イベント「えひめさんさん物語」の開催 ・西日本豪雨災害による直接被害及び風評被害を受けていた施設の回復による反動増 ・ゴールデンウィークが大型連休(10連休)であったことによる影響 によるものと考えられる。
		実績	-1,607 千人 (25,392) 千人	+1,249 千人 (26,641) 千人	千人	+1,249 千人 (26,641) 千人	
		達成度	-415.2%	322.7%		322.7%	
目標4 観光消費額	1,125 億円	目標	+24.4 億円 (1,149) 億円	+24.4 億円 (1,174) 億円	+25 億円 (1,199) 億円	+73.8 億円 (1,199) 億円	目標4の観光消費額については、目標3での要因による観光客増に伴って、目標に対して168.0%という達成度となり、前年比+41億円(+3.6%)となった。瀬戸内しまなみ海道が開通したH11年の1,238億円に次ぐ、過去2番目の数字を記録した。
		実績	+8 億円 (1,133) 億円	+41 億円 (1,174) 億円	億円	+41 億円 (1,174) 億円	
		達成度	32.8%	168.0%		168.0%	

評価年度において実施した事業

事業名	スポーツによる稼ぐ力と地域の魅力創出事業	総合戦略における位置づけ	基本目標:3. だれもが訪れたいと感じる魅力あふれるふるさとを創る 具体的施策:(イ)スポーツのまちづくり 取組:③スポーツツーリズムの推進	事業費	3,000千円
<p>事業概要</p> <p>愛媛県では、えひめ国体・えひめ大会の成功を弾みとした「スポーツ立県えひめ」の実現に向け、裾野拡大や競技力の向上に取り組み、青少年に夢や希望を与え、その健全育成に寄与するとともに、地域のにぎわいを創出し、人々の交流を促進するなど、野球王国・愛媛の発展や地域活性化を図るため、全国初の「野球」をテーマとしたスポーツ・文化両面にわたるイベント等を行う「愛・野球博」を、平成30年度から令和2年度まで開催している。</p> <p>今治市は、スポーツ大会・合宿の誘致活動やスポーツ団体と連携した商店街などにおけるスポーツイベントの開催を促進するため、愛・野球博実行委員会(事務局:愛媛県)への負担金を拠出した。</p> <p>同実行委員会は、「令和元年度 愛・野球博野球イベント開催支援事業」により、県内の住民グループ、NPO、企業及び民間団体等による継続的かつ自主的な野球・ソフトボール等を活用したイベントの開催を促進し、「野球王国・愛媛」の認知度の向上、「野球の聖地」としての地位の確立、野球人口の拡大、競技力の向上等を図るため、野球等を活用したイベントを開催する住民グループ等に対し、補助金を交付している。R1年度、今治市においては下記の事業が実施された。</p> <p>【第43回日米大学野球選手権大会 第2戦】 と き R1.7.17(水) 18:02～21:07 ところ 今治市営球場 対 JAPAN大学代表vsアメリカ大学代表 スコア 日本2-3×アメリカ 来場者数2,500人(主催者発表) うち市内小中学生野球チーム等無料招待者267人 主催 公益財団法人全日本大学野球連盟、読売新聞社</p>					

事業効果	<p>県及び市町、経済団体、スポーツ団体などで組織する「愛・野球博実行委員会」のもと、文化・スポーツの両面から野球をテーマとした各種イベントや合宿の誘致、アマチュア団体と連携した野球大会、プロスポーツとタイアップした野球ファンづくりや野球夢集めなどに取り組んだ。また、日米大学野球が史上初めて今治市で開催され、日本とアメリカを代表する選手のハイレベルなプレーを目の当たりにし、競技人口の維持拡大はもとより、青少年の健全育成、交流人口の拡大にも寄与した。</p>
------	--

事業名	文化による稼ぐ力と地域の魅力創造事業	総合戦略における位置づけ	基本目標：3. だれもが訪れたいと感じる魅力あふれるふるさとを創る 具体的施策：(ウ)広域観光周遊ルートの形成 取組：①広域観光周遊ルートの形成	事業費	1,200千円
-----	--------------------	--------------	--	-----	---------

事業概要	<p>(愛媛国際映画祭) 県民が優れた映画作品や映像文化を体験できる機会を充実させることで、文化・芸術活動への理解促進を図るとともに、新たな才能や映像コンテンツを発掘・評価し、国内外に広く発信する拠点として、世界に誇れる愛媛創りを目指すため、「第1回愛媛国際映画祭」を開催した。 期間：令和2年1月17日(金)～2月2日(日)（前後にキックオフイベント、ポストイベントも実施） 場所：松山市、今治市ほか県内8市町(宇和島市、新居浜市、四国中央市、東温市、松前町、砥部町、内子町) 内容：セレモニー(レッドカーペット、オープニング等)、ロケーションアワード作品選定、映画上映会(アワード作品、招待作品、海外映画祭受賞作品、愛媛ゆかりの映画作品)、映画関連イベント(セミナー、映画音楽コンサート等)等</p> <p>今治市では、イオンシネマ今治新都市にて次の日程で映画の上映、トークショーが行われた。 1月17日(金)：『パーフェクト・レボリューション』(監督：松本准平、出演：リリー・フランキー、清野菜名)の上映、舞台挨拶(松本准平監督、リリー・フランキー) 1月18日(土)：『タンポポ』(監督・脚本：伊丹十三、出演：山崎努、宮本信子、役所広司、渡辺謙)の上映 1月25日(土)：『彼女は夢で踊る』(監督・脚本・編集：時川英之、出演：加藤雅也)の上映、舞台挨拶(時川英之監督、加藤雅也)、「加藤雅也トークショー」の実施 1月26日(日)：『天空の城ラピュタ』(原作・監督・脚本：宮崎駿)の上映</p>
------	--

事業効果	<p>(愛媛国際映画祭) 期間中(前後に実施したものを含む)63回の上映会と12回の関連イベントを実施し、前年のプレ大会での約4,000人を大幅に上回り、県内外の映画ファンなど約11,000人の方々に来場いただいた。一般参加者へのアンケート結果では非常に好意的な意見が多く、映画関係者からも高い評価をいただいた。また、国内外から来県した映画監督や出演者などからは「愛媛のファンになった」「次回もまた参加したい」といった声もいただき、初開催として次回以降に弾みのつく結果となった。</p> <p>今治市においては、映画の上映やトークショーの実施により約650人の方々に来場いただいたが、上映映画やイベントの決定から映画祭開催までの期間が短く、市内外への周知不足から、来場者の多くは東予地域(主に今治市)から来場された。アンケート結果として、上映映画への感想では「よかった」「大変よかった」と回答している人が多かったが、旧作品の多さを指摘する意見や愛媛県内(上映地域)で撮影された映画の上映を希望する意見もあった。</p>
------	--

評価及びそれを受けての市の方針

<table border="1"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">外部有識者による評価</td> <td> <input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない </td> </tr> </table>	外部有識者による評価	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない	<table border="1"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">議会からの意見</td> <td> 特段の指摘なく了承された。 </td> </tr> </table>	議会からの意見	特段の指摘なく了承された。	<table border="1"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">今後の方針、改善点など</td> <td> <p>(スポーツによる稼ぐ力と地域の魅力創出事業) 最終年度となる2020年度には、プロ野球界と県内アマチュア野球団体が連携した本県独自の大規模野球イベント「愛媛ベースボールEXPO」を開催するのをはじめ、プロ野球フレッシュオールスターゲーム、東京六大学野球オールスターゲーム、平成30年7月豪雨災害復興支援高校野球強豪校招待試合など、交流人口の拡大が期待できるイベントの実施を計画している。また、競技人口の維持拡大、競技力の向上を図るため、ベースボールラボや未就学児を対象とした野球教室等の取組みを充実させ、愛・野球博事業のレガシーとして、愛媛の野球文化を、次世代に継承していく。</p> <p>(文化による稼ぐ力と地域の魅力創造事業) 愛媛国際映画祭の今治市での負担金事業は2019年度で終了であるが、周知期間を確保し、地域の魅力を発信するという観点から、各市町で撮影された映画の上映やその映画の撮影話を交えた舞台挨拶、その他上映した映画に関連したイベントなどがあれば、映画という文化をより身近に感じていただくきっかけとなると考えられる。</p> </td> </tr> </table>	今後の方針、改善点など	<p>(スポーツによる稼ぐ力と地域の魅力創出事業) 最終年度となる2020年度には、プロ野球界と県内アマチュア野球団体が連携した本県独自の大規模野球イベント「愛媛ベースボールEXPO」を開催するのをはじめ、プロ野球フレッシュオールスターゲーム、東京六大学野球オールスターゲーム、平成30年7月豪雨災害復興支援高校野球強豪校招待試合など、交流人口の拡大が期待できるイベントの実施を計画している。また、競技人口の維持拡大、競技力の向上を図るため、ベースボールラボや未就学児を対象とした野球教室等の取組みを充実させ、愛・野球博事業のレガシーとして、愛媛の野球文化を、次世代に継承していく。</p> <p>(文化による稼ぐ力と地域の魅力創造事業) 愛媛国際映画祭の今治市での負担金事業は2019年度で終了であるが、周知期間を確保し、地域の魅力を発信するという観点から、各市町で撮影された映画の上映やその映画の撮影話を交えた舞台挨拶、その他上映した映画に関連したイベントなどがあれば、映画という文化をより身近に感じていただくきっかけとなると考えられる。</p>
外部有識者による評価	<input checked="" type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効であった <input type="checkbox"/> 総合戦略のKPI達成に有効とは言えない							
議会からの意見	特段の指摘なく了承された。							
今後の方針、改善点など	<p>(スポーツによる稼ぐ力と地域の魅力創出事業) 最終年度となる2020年度には、プロ野球界と県内アマチュア野球団体が連携した本県独自の大規模野球イベント「愛媛ベースボールEXPO」を開催するのをはじめ、プロ野球フレッシュオールスターゲーム、東京六大学野球オールスターゲーム、平成30年7月豪雨災害復興支援高校野球強豪校招待試合など、交流人口の拡大が期待できるイベントの実施を計画している。また、競技人口の維持拡大、競技力の向上を図るため、ベースボールラボや未就学児を対象とした野球教室等の取組みを充実させ、愛・野球博事業のレガシーとして、愛媛の野球文化を、次世代に継承していく。</p> <p>(文化による稼ぐ力と地域の魅力創造事業) 愛媛国際映画祭の今治市での負担金事業は2019年度で終了であるが、周知期間を確保し、地域の魅力を発信するという観点から、各市町で撮影された映画の上映やその映画の撮影話を交えた舞台挨拶、その他上映した映画に関連したイベントなどがあれば、映画という文化をより身近に感じていただくきっかけとなると考えられる。</p>							